

大野洋子バレエ 沿革

1983年の開校以来、地域に根ざしたバレエ教室として、発表会・舞台活動・地域文化活動を継続してきました。

1983年（昭和58年）	成田市にてクラシックバレエ教室を開校。
1989年（平成元年）	現在のクラシックバレエスクールを千葉県四街道市大日に開校。成田教室以来の生徒たちとともに、千葉市民ホールにて「第1回合同発表会」を開催。
1991年（平成3年）	千葉県民の日コンサート、鴨川フラワーフェスティバルに参加。
1992年（平成4年）	「第2回大野洋子バレエスクール発表会」を四街道市文化センターにて開催。 演目：「パキータ」「バレエコンサート」ほか 出演者：34名
1994年（平成6年）	「第3回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「レ・シルフィード」「バレエコンサート」「くるみ割り人形」より抜粋作品集ほか 出演者：40名
1995年（平成7年）	四街道市主催「阪神・淡路大震災チャリティーコンサート」に参加。
1996年（平成8年）	「第4回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「パキータ」「バレエコンサート」ほか 出演者：50名
1998年（平成10年）	「第5回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「白鳥の湖 第二幕」「バレエコンサート」ほか 出演者：60名 千葉市蘇我の九重幼稚園内にバレエ教室を開校。
2000年（平成12年）	「第6回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「眠れる森の美女 第三幕」、島崎徹作品「アンデスへ続く道」、バレエコンサートほか 出演者：70名 振付家・島崎徹氏を招き、クラシックバレエとは異なる踊りの楽しさを生徒たちが体験。
2002年（平成14年）	「第7回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「白鳥の湖 第二幕・第三幕」、島崎徹作品「枯葉の情景」「夜の境界線」「アンデスに続く道」ほか 出演者：80名
2004年（平成16年）	「第8回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「ドン・キホーテ」より抜粋、「バレエコンサート」ほか 出演者：80名
2006年（平成18年）	「第9回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「ジゼル」第二幕より、島崎徹作品「アンデスに続く道」再演ほか。
2008年（平成20年）	「第10回大野洋子バレエスクール発表会」を開催（20周年記念公演）。 演目：「コッペリア・ハイライト」「カルメン」振付・演出：井上浩二 鈴木光代先生特別出演。
2010年（平成22年）	「第11回大野洋子バレエスクール発表会」を開催。 演目：「眠れる森の美女」ハイライト、島崎徹作品「光降る場所」（新作）ほか。
2012年以降	1年おきの発表会を継続して開催。
2018年（平成30年）8月	30周年記念となる発表会を開催。
2023年3月21日	「四街道市民のためのバレエ」第1回公演に参加。 演目：「くるみ割り人形」全幕
2025年2月9日（日）	「四街道市民のためのバレエ」第2回公演に参加。 演目：「くるみ割り人形」全幕
2025年9月7日（日）	「第18回・36周年記念発表会」を開催。 演目：「レ・シルフィード」「バレエコンサート」など

2026年8月現在